

## 福祉分野との連携

### 4. 広がる「おでかけリハビリ」活動

函館朝市協同組合連合会（函館市）

#### ■ 地域の概要・現状

函館朝市と言えば、函館の人気を支える名所のひとつ。昭和20年代、函館駅前で近隣農家が立ち売りを始めたのがきっかけで、次第に露店の業態となり、昭和31年に現在の場所に移転した。海鮮・水産加工品・農産品を取り揃え、現在は国内外からの観光客で賑わうが、古くから市民の台所と呼ばれる商店街である。



〔函館朝市の外観〕

#### ■ 「おでかけリハビリ」の取組

函館朝市協同組合連合会では、これまで地域住民が足を運ぶ機会を増やそうと、感謝祭などを開催している。イベントは好評ではあるものの、地元客の集客効果は一過性のものとなっていた。また、各店舗の品揃えも、観光客からのニーズに corres pondするために土産品中心になっていたが、店舗の業態・品目を変えることなく、地域住民が日常的に利用する商店街にしたい、地域に恩返しをしたいという思いがあった。

そこで地域貢献の観点から、主に高齢者を対象に、朝市での買い物や食事を楽しんでもらい、外出することで健康増進につなげる取組を企画した。行政・医療関係者・介護施設等との勉強会、試験実施を経て、平成29年4月に「おでかけリハビリ」事業がスタートした。

介護施設や地域のグループなど、利用者からの申し込みを受けて、朝市での買い物と食事のほか、レクリエーションを希望に合わせて組み合わせた『おでかけ』をコーディネートし、楽しみながら体を動かすことで健康増進・リハビリにつなげ



〔レクリエーションの様子〕

ることを目的としている。レクリエーションでは、作業療法士・言語聴覚士・理学療法士による体操などの健康講座や、取組の趣旨に賛同した企業の協力を得て、料理教室、美容教室、お茶の入れ方講座、水分補給講座など様々なメニューを用意している。イベントの観覧や朝市ならではのイカ釣りをすることもある。

#### ■ 取組の拡大、協議会の立上げ

回数を重ねるうちに、利用者から「スーパーや百貨店で買い物をしたい」という声があがり、また、取組の趣旨に賛同した市内近隣の商業施設からの共同開催の申出も出てきた。そこで市内スーパーで試験的に実施し、取組を商業施設へ広げることとした。

取組のさらなる拡大・普及のため、平成29年10月におでかけリハビリ推進協議会を立ち上げた。函館朝市協同組合連合会が事務局を担い、商業施設、医療・介護関係施設のほか、実施運営をサポートする作業療法士・言語聴覚士・理学療法士、タクシー会社、レクリエーションに協力する企業などで構成される。

参加する介護施設や住民グループにとって利用しやすい工夫も多い。施設への車の横付けなどの配慮のほか、交通手段を持たない場合はタクシー手配も依頼でき、必要に応じて歩行器などの貸し出しもある。さらにサポートスタッフとして協議会に登録制の地域ボランティアが参加することで、利用者側スタッフの負担軽減になっている。

## ■ 取組による効果

協議会の設立後は週1回程度実施しており、利用者の満足度は高い。リハビリという施設の中で頑張っているもので、つらい思いをすることも多かったそうだが、外に出て買い物や食事を楽しむことで自然に体を動かし、狙い通り結果としてリハビリになっている。外に出ること自体が生活のハリとなったり、対面販売で会話を楽しむことが喜びだと言う。

受け入れている商業施設側も、1回20名程度による団体客の消費の観点はもちろん、利用者アンケートからサービスや施設の設備についての生の声を得られるなど利点は多い。バリアフリーの設備でも手すりの位置など細かい意見を得られることで、サービス向上や改修時の参考になっている。

また、おでかけリハビリを行っていることが周知され、高齢者にもやさしい場所というイメージが広がることを期待している。

協議会ではおでかけリハビリを通して地域の高齢者の「活動・運動・交流」の場をつくることで、健康増進につなげることを目的としているが、結果として地域経済の活性化や買い物支援の観点からも効果をもたらしている。



[買い物を楽しむ参加者]

## ■ 今後の展望

当初は介護施設単位での利用が多かったが、市内外の町内会など住民グループの利用も増えている。

受け入れ側の商業施設もスーパー、百貨店など市内近郊の11施設となった。これからも利用者の増加はもちろん、受け入れる商業施設や地域ボランティアの募集など参加者の輪を広げ、取組のさらなる浸透を目指していく。

また、地域ポイント制度を検討しており、試験実施により体制づくりを行うこととしている。

今後は本取組をモデルケースとして、道内外の他地域へもつなげる考え。実施地域が増えれば、その拠点間で連携したユニバーサルツーリズムとして旅行・観光にも結びつける構想も持っている。

取材先 ■ 函館朝市協同組合連合会（函館市若松町9-19）  
TEL 0138-22-7981  
HP <http://www.hakodate-asaichi.com/>